



BOOKS 図書紹介

ロケット・ササキ

ジョブズが憧れた伝説のエンジニア・佐々木正

大西 康之 著／新潮社 1,620円（税込）

ロケット・ササキとは、「電子立国日本」を作り上げた伝説のエンジニアと呼ばれ、シャープの成長に貢献した佐々木正のことです。電卓生みの親でもあり、シャープを世界的企業に育てたと言われています。私自身は氏のことを知りません。自身は氏のことを感じます。

佐々木氏は、1915年に台湾（当時は日本統治下）で生まれ育ち、真空管製造会社を経て、早川電気（現シャープ）に入社。後に日本の電子産業の成長に大きく貢献し、アップルのジョブズが憧れ、孫正義の窮地を救つた恩人でもあるそうです。

高校三年生のとき、「接ぎ木」の研究テーマを与えられ、リンゴの木とマンゴーの木を接ぐことにしました。普通に接ぎ木すると失敗しますが、その原因を突き止め、改善しました。「異質なものが新しい価値が生まれる」ということを認識し、氏の信条である「共創」につながつていったそうです。シャープに入社するまでの氏は、終戦までの日本標準となる電話機改良型の開発、開戦とともに新型レー

電子立国日本の未来を切り拓いた男の奮闘記

大西 康之著
『電子立国日本の未来を切り拓いた男の奮闘記』

ダーテchniqueを習得、のちに電子レンジとなる「殺人電波」の開発、アメリカでクオリティ・コントロール（品質管理）やトランジスタに出会うなど、多大な功績をあげました。1964年、早川電気へ転身した際、オールトランジスタ電卓が誕生しコンピューター時代を迎えます。コンピューターと言つても加減乗除する計算機です。当時、大衆車が35万円の時代に、計算機が100万円、しかも机1つを占領する大きさでした。シャープは「八百屋のおかみさんが使えるコンピューター」を目指し、開発と販売を始め、電卓戦争はカシオとの一騎打ちに。この競争で家庭用としても需要が高まり、価格が劇的に下がりました。パソコンの爆発的な成長拡大にもつながり、こうした電子革命を主導したのが佐々木氏だそうです。

現在のシャープは、ホンハイに買収されるまで低迷しました。シャープの失敗について佐々木氏は、「何でもかんでも一人でやろうとしたこと、オンライン戦略やブラックボックス戦略は、いささか傲慢だ」と言つたそうです。電子産業において日本が果たした役割や共創の大切さを、ぜひ皆さんに知つていただきたいと思います。

文/大谷圭水（だいやもん）

マンションの設備・管理が一番わかる

日下部 理絵 著

現在、国内には約613万戸の分譲マンションが存在し、居住人口は約1510万人にものぼる。マンション管理にかかる業務は多岐にわたり、ビルメンテナンス業もその一端を担っている。

本書は、「マンションのいま」「管理の基礎知識」「清掃」「維持と修繕」「マンション設備」「トラブルの対処法」「接遇とマナー」「マンションの法令」「新たな価値の構築」全9章で

構成されている。著者は、（一社）マンション管理員検定協会の理事長・日下部理恵氏（2015年8月号参照）。

清掃に関しては、基本的な洗剤の知識や清掃用具、部位別の作業内容などを解説。また、マンション管理ならではの植栽管理にも触れ、各作業の年間回数、作業時期などをまとめた年間管理計画表も掲載されている。



技術評論社
定価：2,030円（税込）

《ビルメンブックセンターでご購入いただけます》